

第73回全日本実業柔道団体対抗大会

会期:令和5年6月3日(土)～4日(日)

会場:四日市市総合体育館

【二部】センコー3位入賞、【一部】東芝ベスト8

全日本実業柔道団体対抗は3日4日、三重県四日市市総合体育館で行われ、旭化成 A が男子一部でパーク 24 を倒し2年連続で優勝した。男子二部ではパーク 24 が自衛隊体育学校を 2-1 で下し優勝した。本大会で田村高校柔道部の 0B は男子一部、東芝所属の瀧澤秀斗(24)、男子二部、センコー所属の杉山海(24)の2名が出場。

【全日本実業柔道団体対抗大会とは】

各社の名誉をかけ、日本柔道界を代表する一流選手が実業柔道団体日本一を目指す、実業柔道最大の大会



↑センコーの大将で出場の杉山海(手前右端)

「男子一部試合展開」

東芝は初戦、九州電力との対戦。瀧澤秀斗は副将戦で出場し飯田選手と対戦した。開始から優勢に試合を運んで3分過ぎに仕掛けた左体落としを体幹の力で押し込み縦四方固め一本勝ち。チームも 3-1 で勝利した。続く新日本製鉄戦で中堅に出場。自身より一回り大きい上田選手にケンカ四つの組手を巧みに捌き、両者内股の攻防が続いたが決め手なく引き分け。チームは 0-4 で敗れた。

「男子二部試合展開」

センコーは一回戦シード、二回戦は戸高鉱業社との対戦。(杉山海は今大会全て大将で出場)相手は自身より30キロ重い村田選手だが果敢に攻め2分半過ぎに放った得意の袖釣り込み腰で一本勝ち。三回戦の豊田自動織機の榎並選手戦はこちらも得意の寝技で一本勝ち。準決勝ヘコマを進め、自衛隊体育学校との対戦。相手はベテランの春山選手。序盤で組際の一本背負いで技ありを先取され、取り返そうと技を繰り出すが決定打はなし。残り2分で再び一本背負いを受け技あり、合技一本負けとなりチームも 1-3 で敗れた。